

リアルタイムで構造物内部の損傷が判定できる。

Jモニター 調査支援モニター

特許出願済

構造物を、

外側から調べる内視鏡。

- 1 現場で損傷レベルをモニターで確認可能。
- 2 個人差による損傷部の見落としを防止。
- 3 損傷部をより発見しやすくし、赤外線調査を強力にサポート。



赤外線カメラに取り付けるだけで 現場でリアルタイムに損傷状態が確認できます。

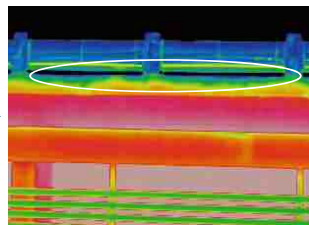
コンクリート内部の損傷調査を画期的に変えた赤外線調査をさらに支援するのがJモニターです。赤外線カメラにJモニターを設置すれば、調査現場でリアルタイムに調査結果を知ることができます。熱画像で温度ムラから損傷箇所を表示するだけでなく、温度ムラを強調表示する探索モードや損傷具合を3段階に分けて表示する判定モード、さらには、損傷予測確率をリアルタイムで表示して、コンクリートの浮きや剥離を細部まで見逃しません。



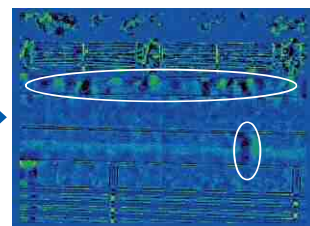
赤外線画像を3種の解析方法を用いて、 構造物の損傷を厳しくチェックします。



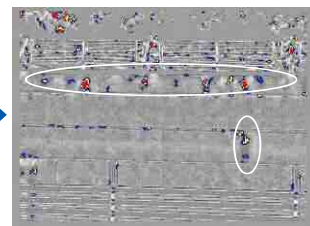
可視画像
※多主桁コンクリート橋張り出し部



①従来の熱画像
温度ムラ部の損傷を検出。熱画像だけでは見落としの可能性大。損傷グレードの推定不可。



②探索モード
探索モードにより、損傷箇所の温度変化のみを強調表示。

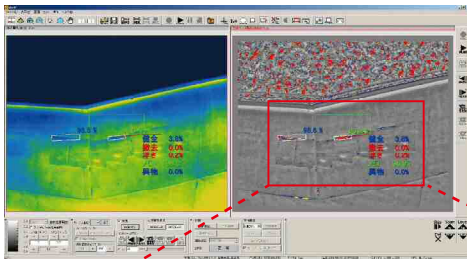


③判定モード
調査しながらリアルタイムに損傷グレードを表示。

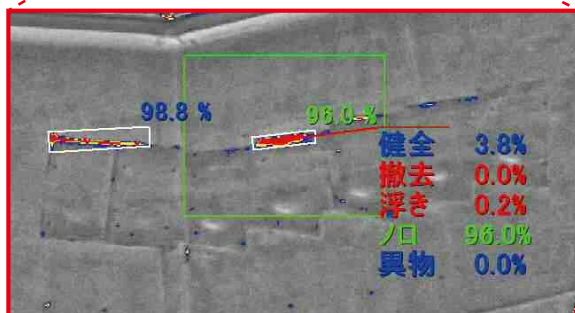
3段階表示

- 観察
- 注意
- 要注意

④損傷予測確率グルーピング機能



調査しながらリアルタイムに損傷予測確率を表示



【稼働環境】

- OS:Windows XP
- ハードウェア: Intel Core2 Duo CPU U9300@1.20GHz
- メモリー:2GB

■販売元・お問い合わせ先

西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社
〒760-0072 高松市花園町三丁目1番1号
tel.087-834-2386 fax.087-834-0150

くわしくは エンジニアリング 四国 検索

販売代理店